

(様式1-4)

浪江町 帰還環境整備事業計画 平成29年度 帰還環境整備事業等

省庁名: 国土交通省

平成29年5月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	当該年度(注4)			年度間調整額(注5) (該当する場合のみ記載)		備 考
								交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、福島県又は避難指示・解除区域市町村等以外の者が負担する額を減じた額 (c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 $(d)=a \times b + (c-a \times b)/2$ (注6) 効果促進事業等の場合 $(d)=0.8c$	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 $(f)=d-e$	
15	(1) - 1 - 1 -	災害公営住宅整備事業(幾世橋地区) (基金型)	浪江町地内	町	浪江町	直接	3/4	(1,494,396) 0 <1,494,396>	(1,494,396) 0 <1,494,396>	(1,307,596) 0 <1,307,596>			
37	◆(1) - 1 - 1 - 2	災害公営住宅整備事業(幾世橋地区)関連道路整備等事業(基金型)	浪江町地内 幾世橋地区	町	浪江町	直接	-	(33,866) 0 <33,866>	(33,866) 0 <33,866>	(27,092) 0 <27,092>			
38	(1) - 10 - 2 -	浪江町中心市街地再生検討事業	浪江町地内	町	浪江町	直接	1/2	(14,382) 0 <14,382>	(14,382) 0 <14,382>	(10,786) 0 <10,786>			
45	(1) - 11 - 5 -	浪江町道路整備事業(請戸漁港小高瀬 追線)(基金型)	浪江町地内	町	浪江町	直接	7/10	(0) 938,000 <938,000>	(0) 938,000 <938,000>	(0) 797,300 <797,300>			
46	(1) - 11 - 6 -	浪江町道路整備事業(一里檀大町線) (基金型)	浪江町地内	町	浪江町	直接	7/10	(173,891) 760,000 <933,891>	(173,891) 760,000 <933,891>	(147,807) 646,000 <793,807>			
61	(1) - 11 - 7 -	浪江町道路整備事業(大平山来福寺東 線)(基金型)	浪江町地内	町	浪江町	直接	7/10	(34,241) 379,000 <413,241>	(34,241) 379,000 <413,241>	(29,104) 322,150 <351,254>			
62	(1) - 11 - 8 -	浪江町道路整備事業(小熊田宮田線) (基金型)	浪江町地内	町	浪江町	直接	7/10	(77,740) 0 <77,740>	(77,740) 0 <77,740>	(66,079) 0 <66,079>			
65	(1) - 10 - 3 -	浪江町復興地域づくり総合事業	浪江町地内	町	浪江町	直接	1/2	(21,094) 0 <21,094>	(21,094) 0 <21,094>	(15,820) 0 <15,820>			
							合計額	(1,849,610) 2,077,000 <3,926,610>	(1,849,610) 2,077,000 <3,926,610>	(1,604,284) 1,765,450 <3,369,734>	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	

県名	福島県	担当部局名	企画財政課 財政管財係	担当者氏名	吉田 匠
市町村名	浪江町	電話番号	0240-34-0237	メールアドレス	yoshidat@town.namie.lg.jp
地方公共団体の組合名					

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(実施要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第5の1の(3)におけるbと同様)
(注4、5)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。
(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第4の7の④に該当した場合に記載する。
(注6)各交付担当大臣が定める交付要綱において、交付額の算定方法が定められている場合には、その規定に基づき算定すること。
(注7)基金を造成して帰還環境整備事業等を実施する場合においては、当該事業の(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(様式1-4)

浪江町 帰還環境整備事業計画 平成29年度 帰還環境整備事業等

省庁名: 内閣府

平成29年5月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

Table with columns: No., 事業番号 (注1), 事業名 (注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 基本国費率 (注3), 交付対象事業費 (b), 交付対象事業費のうち、福島県又は避難指示・解除区域市町村等以外の者が負担する額を減じた額 (c), うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 (注6), 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c, 年度間調整額 (注5) (e), 調整後の交付金交付額 (f)=d-e, 備考

Summary table with columns: 県名 (福島県), 市町村名 (浪江町), 担当部署名 (担当部署), 企画財政課 財政管財係, 担当者氏名 (吉田 匠), メールアドレス (yoshidat@town.namia.lg.jp)

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(実施要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第5の1の(3)におけるbと同様)
(注4、5)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。
(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第4の7の④に該当した場合に記載する。
(注6)各交付担当大臣が定める交付要綱において、交付額の算定方法が定められている場合には、その規定に基づき算定すること。
(注7)基金を造成して帰還環境整備事業等を実施する場合には、当該事業の(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(様式1-4)

浪江町 帰還環境整備事業計画 平成29年度 帰還環境整備事業等

省庁名: 厚生労働省

平成29年5月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

Table with columns: No., 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 基本国費率(a)(注3), 交付対象事業費(b), 交付対象事業費のうち福島県又は避難指示・解除区域市町村等以外の者が負担する額を減じた額(c), うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 (注6), 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c, 年度間調整額(国費)(e), 調整後の交付金交付額(f)=d-e, 備考. Rows include items 41, 64, 74, and a total row.

Summary table with columns: 県名 (福島県), 市町村名 (浪江町), 担当部署名 (企画財政課 財政管財係), 担当者氏名 (吉田 匠), 電話番号 (0240-34-0237), メールアドレス (yoshidat@town.name.lg.jp), 地方公共団体の組合名

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(実施要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」...
(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。
(注4、5)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。
(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第4の7の④に該当した場合に記載する。
(注6)各交付担当大臣が定める交付要綱において、交付額の算定方法が定められている場合には、その規定に基づき算定すること。
(注7)基金を造成して帰還環境整備事業等を実施する場合には、当該事業の(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(様式1-4)

浪江町 帰還環境整備事業計画 平成29年度 帰還環境整備事業等

省庁名: 農林水産省

平成29年5月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

Table with columns: No., 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 基本国費率(a)(注3), 交付対象事業費(b), 交付対象事業費のうち、福島県又は避難指示・解除区域市町村等以外の者が負担する額を減じた額(c), うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 (注6), 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c, 年度間調整額(国費)(e), 調整後の交付金交付額(f)=d-e, 備考

Table with columns: 県名, 市町村名, 担当部署名, 企画財政課 財政管財係, 担当者氏名, 吉田 匠, 電話番号, 0240-34-0237, メールアドレス, yoshidat@town.namie.lg.jp, 地方公共団体の組合名

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(実施要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第5の1の(3)におけるbと同様)
(注4、5)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。
(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第4の7の④に該当した場合に記載する。
(注6)各交付担当大臣が定める交付要綱において、交付額の算定方法が定められている場合には、その規定に基づき算定すること。
(注7)基金を造成して帰還環境整備事業等を実施する場合には、当該事業の(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(様式1-4)

浪江町 帰還環境整備事業計画 平成29年度 帰還環境整備事業等

省庁名: 経済産業省

平成29年5月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

Table with columns: No., 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 基本国費率(a)(注3), 交付対象事業費(b), 交付対象事業費のうち福島県又は避難指示・解除区域市町村等以外の者が負担する額を減じた額(c), うち交付金交付額(基幹事業の場合)(d)=a×b+(c-a×b)/2(注6), 効果促進事業等の場合(d)=0.8c, 年度間調整額(注5)(該当する場合のみ記載), 年度間調整額(国費)(e), 調整後の交付金交付額(f)=d-e, 備考

Summary table with columns: 県名, 市町村名, 担当部署名, 企画財政課 財政管財係, 担当者氏名, 吉田 匠, 電話番号, 0240-34-0237, メールアドレス, yoshidat@town.namie.lg.jp, 地方公共団体の組合名

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(実施要綱列表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第5の1の(3)におけるbと同様)(注4、5)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第4の7の④に該当した場合に記載する。(注6)各交付担当大臣が定める交付要綱において、交付額の算定方法が定められている場合には、その規定に基づき算定すること。(注7)基金を造成して帰還環境整備事業等を実施する場合には、当該事業の(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。